

学年	高校1年	教科	数学
コース	RC/ICS/MST	科目	数学 I
時間数	4時間/週		

重視したいコンピテンシー

① 探究心	新しい事実を学んだとき、なぜそれが成立するのかを自発的に、かつ論理的に考えようとする。
② 問題解決能力	与えられた問いに対して、正しい推論を元に、答えを導いていこうとする。
③ コミュニケーション	他者の考えを知り、自分の考えをより深いものへと変えようとする。

3	学んだ定義、定理から新たな定理を自分で発見することができる。	問題を解く際に、様々な発想から複数の解法を考えることができる。	正しい推論をすすめるために、自分が持っている知識と、事実としておさえている部分を整理することができ、次に学ぶべきことが自発的に理解できる。
2	扱った定理がなぜ成り立つのか、証明することができる。	問題を解く際に使った定義や定理を使う理由を自分なりに説明できる(発想の説明)。	他人の答案をみて、不足している点を指摘することができる。
1	扱った定義、定理を的確に述べることができる。	定義、定理を使って問題を作ることができる。	自分の論述が論理的に正しいのか判断することができる。
	A 知識・技能	B 応用・実践	C 批判・創造

学期	月	単元	単元目標	主な活動
1	4	二次関数 集合と論理 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> 二次関数の最大、最小が求められるようになる。 2つの命題の関係を論理記号(⇒等)で表し、集合との包含関係を述べることができる データにおける平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差を理解し、計算することができる。 	データの分析においては、各々がテーマを決めて自発的な調査活動を行っていく
	5			
	6			
	7			
2	9	図形と計量 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形を与えられたとき、1辺から他の2辺を表現することができる。 単位円を用いて一般の角におえる三角関数を求めることができる。 	具体的な三角比の表を用いて、直接測ることのできない距離を間接的に求める作業を実際に行う。
	10			
	11			
	12			
3	1	方程式・式と証明	<ul style="list-style-type: none"> 恒等式を係数比較と代入の観点から扱える。 等式、不等式の証明を正しい順序で行える。 相加相乗平均を理解し、利用することができる 複素数を理解し、四則演算ができるようになる。 	証明の記述を他の子と比べる。他人の良い所を探し、自分の記述力、論理力の向上を行う。
	2			
	3			